
くまもとサイエンスパーク構想について

令和8年(2026年)1月19日
熊本県商工労働部産業振興局

熊本県の半導体産業について

- 三菱電機 熊本工場の進出を始まりとし、**九州に半導体産業が集積**（＝シリコンアイランド九州の誕生）。**熊本は以来、シリコンアイランド九州を牽引する存在**。
- その後も、熊本県では**産業振興施策として半導体分野を戦略的分野と位置づけ**、国の施策とも連動した県独自の戦略的誘致を行ってきた。特に1980年代の熊本テクノポリス構想においては、**多数の工業団地の形成や支援体制等の構築があり、多くの企業誘致・産業育成のきっかけ**となった。
- これらについては、良質で豊富な水資源や、多くの理工系人材の輩出など、**熊本地域が有する強みが大きな要因**となっており、**日本有数の半導体製造拠点**となっている。

<熊本県の強み>



熊本の半導体55年の歴史

1960年代	三菱電機熊本工場進出 九州日本電気開設
1980年代	東京エレクトロン、柿崎製作所（現ミライアル）、三井ハイテックなど進出、シリコンアイランド九州への始動 熊本テクノポリス構想指定。熊本県は県企業立地促進資金融資制度などを創設、テクノ圏域への先端企業の誘致を促進 テクノリサーチパーク建設。半導体やIT関連企業が進出 鳥子工業団地に堀場エステックなど進出
1990年代	熊本中核工業団地にテラデザイン、東京エレクトロン九州、濱田重工などが進出、半導体産業集積の基礎形成 熊本県企業誘致連絡協議会設立、県産業開発課を県企業立地課へ拡充 セミコンテクノパーク建設。東京エレクトロン九州合志事業所開設
2000年代	「セミコン・フォレスト構想」＝シリコンアイランド九州の集積状況と、その中央部に位置する熊本の立地環境を世界にアピールする戦略的な企業誘致へ 南関東部工業団地に荏原製作所進出 ソニーセミコンダクタ九州熊本TEC操業開始
...	～セミコンテクノパークを中心に半導体関連企業が進出～
2021年	TSMCが、菊陽町に進出決定

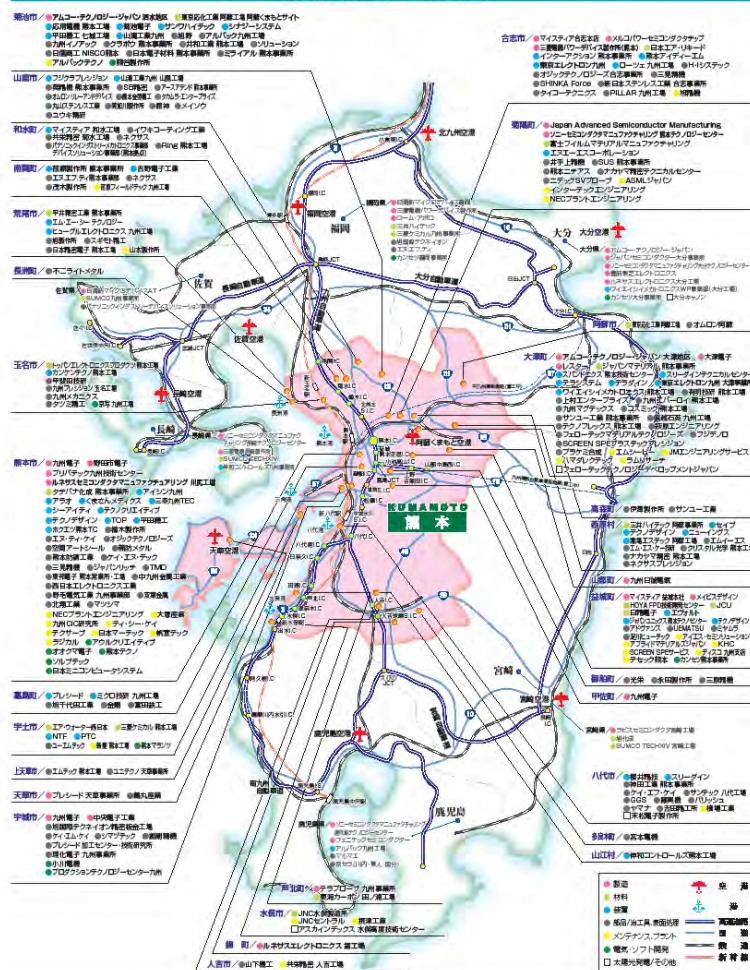
 シリコンアイランド九州の中心に位置	 半導体製造に欠かせない豊富な水資源	 県内の大学、高専などに理工系が多く理工系人材に強い
 時代を先取りし、半導体にターゲットを絞るなど 県の戦略的企業誘致が奏功 [テクノポリス構想] セミコンフォレスト構想	 半導体関連の資材調達技術共有など 産業インフラが有効に活用できる	 半導体関連メーカーとの受注取引で技術力を磨き上げてきた 県内協力企業群（約200社）

熊本県・九州への立地状況について

九州地域は多くの半導体関連企業が立地（シリコンアイランド九州）。特に熊本県には、二百数十社（シリコンアイランド九州の20%強）の企業が集積。製造メーカーだけでなく、メンテナンスメーカーや工場・器具設置メーカーなど、関連企業がまんべんなく存在する稀有な地域。

シリコンアイランド九州

半導体関連 主要企業位置図



一貫工場

- ・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング 熊本テクノロジーセンター(菊陽町)
- ・ルネサスセミコンダクタマニュファクチュアリング 川尻工場(熊本市)

設計

- ・九州電子 LSIシステムセンター(宇城市)
- ・ジーダット(菊陽町)
- ・マイスティア(益城町、合志市)
- ・プリバテック九州技術センター(熊本市)
- ・メイビスデザイン(益城町) ほか

前工程

- ・三菱電機パワーデバイス製作所(合志市・菊池市)
- ・JASM(菊陽町)

後工程

- ・アムコー・テクノロジー・ジャパン(大津町・菊池市)
- ・ルネサスエレクトロニクス 錦工場(錦町)
- ・テラプローブ九州事業所(芦北町)
- ・レスター(大津町)
- ・大津電子(大津町)
- ・九州日誠電気(山都町)
- ・中央電子工業(宇城市)
- ・野田市電子(熊本市) ほか

装置

- ・荏原製作所 熊本事業所(南関町)
- ・東京エレクトロ九州(合志市)
- ・テラダイン(大津町)
- ・堀場エステック(西原村)
- ・カンケンテクノ(玉名市)
- ・インターアクション 熊本事業所(合志市)
- ・ローツェ九州工場(合志市)
- ・アイシン九州(熊本市)
- ・平田機工(熊本市)
- ・くまさんメディクス(熊本市)
- ・山清工業九州(菊池市、山鹿市)
- ・テクノクリエイティブ(熊本市) ほか

治工具

- ・信越石英九州工場(大津町)
- ・ミライアル 熊本事業所(菊池市)
- ・アルバック九州工場(菊池市)
- ・東邦電子 熊本工場(熊本市)
- ・ニデックSVプローブ(菊陽町)
- ・日本電子材料 熊本事業所(菊池市)
- ・理化電子九州事業所(宇城市) ほか

【出典】熊本県「企業立地のご案内（シリコンアイランド九州 熊本企業マップ）」令和6年(2024年)11

台湾・半導体製造最大手

TSMC (JASM) の進出

第1工場
進出 (2021.11)

第2工場
進出 (2024.2)

【新工場概要(第1工場・第2工場)】

○ 稼働開始：(第1工場)2024年12月
(第2工場)2027年末まで

○ 設備投資額： 2兆9,600億円超
(200億米ドル超) ※1米ドル=148円換算

○ 雇用予定者数：3,400人以上

○ 月間生産能力：100,000枚以上(12インチウェーハ換算)

○ 主な出資企業：ソニー、デンソー、トヨタ



半導体産業の集積強化

新生シリコンアイランド九州の実現
～日本の経済安全保障の一翼を担う～

くまもとサイエンスパーク推進ビジョン（策定経緯）

木村知事マニフェスト（R6）

■ 「くまもと版サイエンスパーク構想」を推進

- ・ 半導体産業の集積効果を活かしながら、知事自らがプロデューサー兼セールスマンとなって、半導体を始め E V や蓄電池、ライフサイエンス、脱炭素・S D G s 関係など、先端技術の製造・研究開発拠点を誘致します。また、これらを中心とした街づくり **（くまもと版サイエンスパーク構想）を推進**します。
- ・ また、県内大学には半導体研究の拠点を構築するほか、国の最先端研究機関を誘致します。さらに、国内外の研究大学との連携を進め、世界に伍するグローバルな研究開発拠点を熊本に作ります。

熊本県産業集積・産業力強化検討会議（R6）

【目的】

「新大空港構想」の4つの柱のうち「産業集積・産業力強化」の具体化に向けた拠点整備（まちづくり）が、民間主導で実行に移していけるよう、有識者から大所高所の意見を求めること目的。

【開催経過】

第1回（R6.7.12） 第2回（R6.11.22） 第3回（R6.12.18） 第4回（R7.2.19）

【委員】

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング（株）山口社長、J A S M（株）堀田社長
東京エレクトロン九州（株）林社長
合志市荒木市長、菊池市江頭市長、菊陽町吉本町長、大津町金田町長
熊本県立大学黒田理事長、熊本大学柿本教授、（株）野村総合研究所坂口研究員

くまもとサイエンスパーク推進ビジョン (R7.3策定)

1 くまもとサイエンスパークの基本理念

(1) 分散型サイエンスパーク

半導体関連企業が集積し、周辺で工業団地整備や住環境整備が進むセミコンテクノパーク周辺地域において、必要な機能を複数の拠点で分担する「**分散型サイエンスパーク**」を目指す。

(2) 周辺開発に関する対応方針

本ビジョンに即した土地利用を誘導していくため、地区計画制度等を活用し、県及び市町で連携して手続き等を進め、くまもとサイエンスパークの充実・拡充を図る。

2 くまもとサイエンスパーク 5本の矢

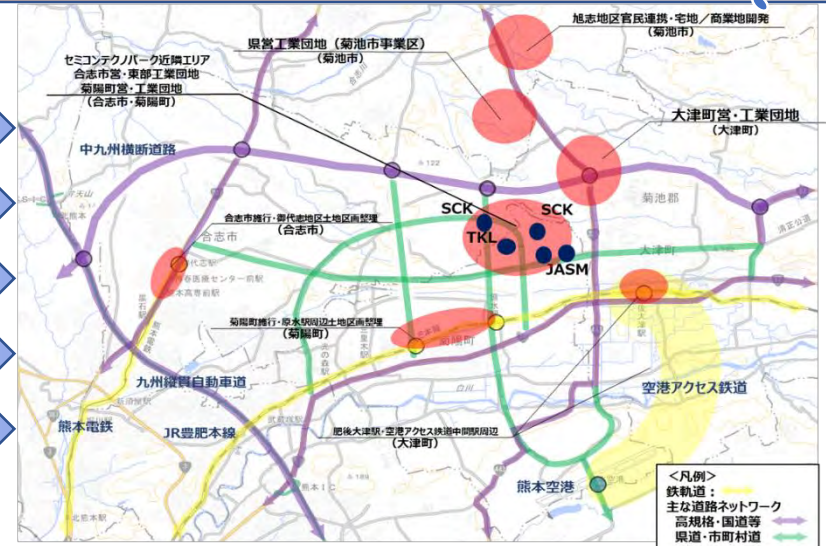
(1) 半導体関連企業や半導体を使うユーザー企業の集積

(2) 新たな産学官連携拠点「**イノベーション創発エリア**」の整備

(3) 「**パークマネジメント法人**」の設立

(4) 半導体人材育成に特化した大学・研究機関の誘致

(5) 学生・企業・研究者が共同で利用できる施設の整備



3 くまもとサイエンスパークを支える施策

4 将来展望

サイエンスパークの機能を充実させる施策

生活・住環境
の充実

インフラ
の充実

物流機能
の向上

サイエンスパークの特色を出す施策

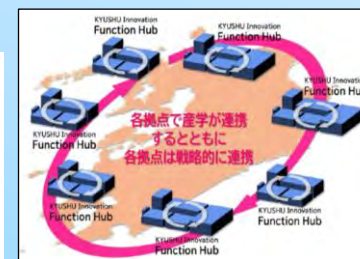
地域のための
共同研究

国家戦略
特区の活用

【県内全域への波及】



【九州内の連携】



【東アジアを代表する拠点】



くまもとサイエンスパークのイメージ

くまもとサイエンスパークの基本理念

- ①サイエンスパークに必要な機能を複数の拠点で分担する「分散型サイエンスパーク」
- ②分散型における拠点間の連携に関しては、立地企業間や大学・研究機関との共同研究を行うなど、有機的な繋がりを実現

くまもとサイエンスパーク5本の矢

- ①半導体関連企業や半導体を使うユーザー企業の集積
- ②新たな産学官連携拠点「イノベーション創発エリア」の整備
- ③「パークマネジメント法人」の設立
- ④半導体人材育成に特化した大学・研究機関の誘致
- ⑤学生・企業・研究者が共同で利用できる施設の整備



AI



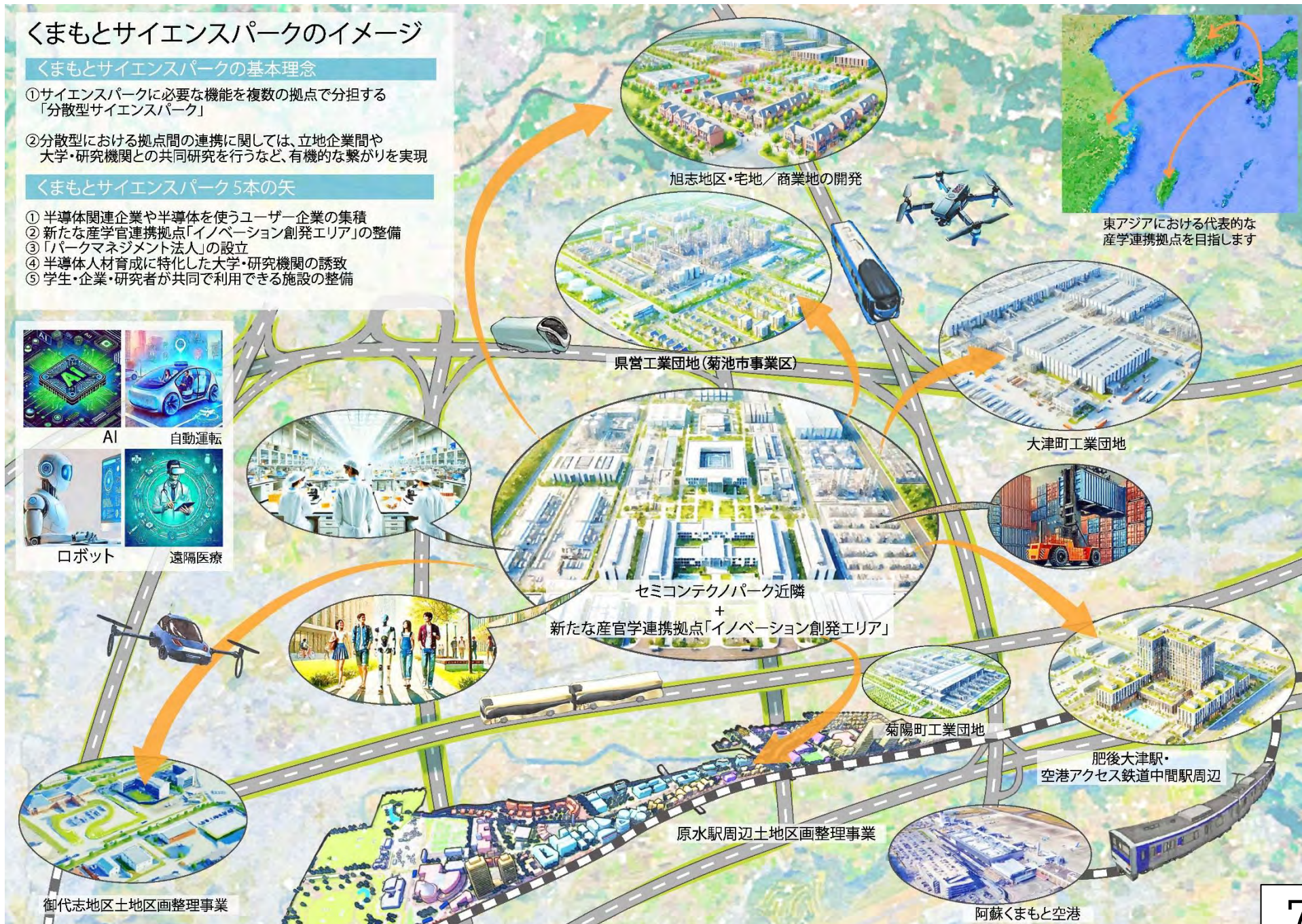
自動運転



ロボット



遠隔医療



くまもとサイエンスパーク実現に向けた環境整備

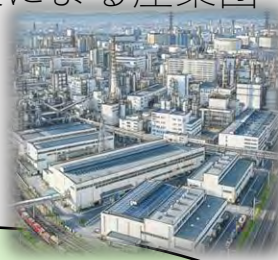
交通インフラの整備

- 中九州横断道路の整備
- JASM周辺道路の多車線化と立体交差計画



工業団地の整備

- 県・市町村で合計200haの新規工業団地を整備
- その他、民間企業による産業団地開発も加速



公共交通の強化

- 空港アクセス鉄道の整備
- JR九州豊肥本線（三里木～原水駅間）において新駅設置を計画



くまもとサイエンスパーク

工業用水・下水処理

- 竜門ダムの未利用水を工業用水として供給するため新規管路と浄水場を整備
- セミコン特定公共下水の新規整備



研究開発促進

- 熊本大学：半導体研究・教育施設「SOIL」・「D-Square」を新設（2025年）



出典：熊本大学

人材育成・確保

- 熊本高等専門学校：半導体人材育成プログラム設置（2024年度～）
- 熊本県立技術短期大学校：半導体技術学科新設（2024年4月）
- 熊本県立大学：半導体学部（仮称）を新設予定（2027年4月予定）



くまもとサイエンスパークの将来展望

空港周辺、ひいては八代市の県営工業団地をはじめとした県南エリアにも波及効果が及ぶよう長期的、広域的な取組みとして拡張を図る。また、今後九州各地において整備が進むことが想定される拠点との連携を図ることで「新生シリコンアイランド九州」の実現、そして東アジアを代表する「産学官連携拠点」を目指す

【東アジアを代表する拠点】

【九州内の連携】

【県内全域への波及】

